



# 東高だより ーはなみずきー

第39号  
(H23.10.24)

「もっと怒れ！」

ニューヨークでデモ行進があった。ロンドンでもローマでもそうだ。これが世界中に飛び火しようとしている。日本でも300人程度のデモが行われたと聞く。このデモは「格差社会」に反対してのことだ。国民の不満が爆発し小さなデモが引き金で国の存亡にまで関わったのが、チュニジアとリビアである。チュニジアでは23年間独裁政治を行ってきたベンアリ大統領が失脚、リビアではカダフィ政権が転覆した。独裁政治に反対して人々が蜂起、その勢いが瞬く間に全土に広まり政権交代となった。

果たしてこれが日本だとどうだろうか。恐らく日本人はどこまでも大人しく礼儀正しい国民を通すのではないか。デモとかストライキというのは特別な人間がするもので、あつしには関わりのないことでござんす、そんな一種醒めた態度で見ていやしないか。というか、今の日本人は諦めているのではないかと思う。それとも自分の主義・主張を持つに至らないほど不勉強？

生活の苦しさに農民が蜂起した事件は日本史でも多い。中でも天保の大飢饉に端を発した「大塩平八郎の乱」は有名である。ところが、徳川の幕藩体制に終止符を打った後は、語弊があるかもしれないが不満を抱けど大衆で抗議するような場面は少ない。私が中・高校生の頃には、日米安保条約のことで学生も大々的に抗議運動を展開していた。革マル派、中核派などがヘルメットかぶって争っていた。新宿駅では騒乱罪で約450人が逮捕された。東京大学の入試が行われなかったことも記憶に残る。



しかし、当時の日本人の多くが、テレビでデモ隊を対岸の火事のように眺めていたのではないか。君たち何をワイワイやってるの、そんなことするくらいなら勉強したら、と。こう言う私もその一人だったが。その後、日本は高度成長期に入り、雇用も安定し、国民の多くが中流意識を持つに至っては、世の不条理とか不正に対して「もの申す」はすっかり影をひそめてしまった。物質的に満たされれば、少々の不条理とか理不尽には目をつぶる。寛大になる。そういうことか。それとも、どうせ言っても無駄だよ、と諦めているのか。

早朝に走るので、自分が走るコースの状況が暗くて分からない。ところが土曜日、久しぶりに朝寝をし普段より遅く走りに行き驚いた。走るコースは農道。舗装はしてある。だから車も通る。驚いたのはポイ捨てのゴミの多さだった。弁当の容器とかジュース・ビールの空き缶をスーパーのナイロン袋に包んでそのままポイである。その光景に脳味噌が萎縮、目の奥がキューン。空き缶、ペットボトル、タバコの吸殻なんかではもう驚かない。こちらの意識も飼いやられて段々麻痺してきた。この前なんかこんなことがあった。台風が通り過ぎて数日後、川土手を走っていると、中洲の葦の茂みに手押し車と古いベッドマットが引っかかっていた。これはいったい？ まさか捨てた？ 考えられる。五木ひろしの歌に「川は流れる橋の下」というのがあるが、こんなもん捨てると橋脚に引っかかって、川は流れる橋の上だ。馬鹿たれが、ほんまに。そう言いたくなる。こんなことに腹立ちませんか？



こうなったら言っちゃうぞ。ある交差点。信号は青。直進していた。ところが横から耳にイヤホンして手に携帯持った高校生が自転車で飛び出してきた。急ブレーキ。後続車も同じく急ブレーキ。こらお前、赤信号だろうが。叫ぼうと思ったがすでに高校生はどこかにドロン。今度会ったらお尻をポンポンおしおきしてやるからな。

まだある。ラーメン注文したら、おねえちゃんが片手で鉢を運んできた。真っ赤なマニキュアをした親指がスープブルブルン振ってスープを払い落とす。まるできたな一、と言わんばかりに。何しよんじゃ。客に汚いもん食わず気か。怒るで、ほんまに。

年金記録がない。そんな。私の老後が……。怒れ！ うわー遅刻する。急げ。ところがチェーンがガチャンポトリ。何でこうなるの。怒れ！ さきイカの袋が開かない。くそっ！ 力任せに思い切り両手で引っ張る。バーン。さきイカが見事に床に飛び散った。怒れ！ これちょっと違うか。

まあとにかくだ、いい意味での怒りを忘れてはいけない。些細な事でも、世のため人のためになると思えば、はっきり誤りを指摘する。それでだめなら怒れ。大人であろうが子どもであろうが、不条理、理不尽には怒れ。

今の日本人は平和ぼけして怒りを忘れていやしないか。